

美咲町教育委員会  
教育長 柴原 靖彦 殿

平成29年11月9日

評価者 佐々木 勇  
(美作大学生生活科学部)

美咲町教育委員会の教育に関する事務の管理  
及び執行の状況の点検・評価に関する所見

1 教育委員会の組織・活動について

教育委員会は定例会をはじめとして、事務局職員ともよく連携し、十分な時間をかけて審議及び協議が熱心に行われている。また、岡山県や美作地区の研修会等に積極的に参加して識見を深めるなど、意識の向上に努めている。

教育行政の重点目標及び施策、人事、施設管理をはじめとした多くの議題が検討されているが、マネジメント・サイクルにより数値目標が設定され、評価されている。今後は、保小中の連携はもちろん、関係部局との連携も深めながら、よりきめ細かな取組が求められる。

2 教育委員会が管理執行する事務について

(1) 基本的・総務的事務

平成23年に、5年間を期限とした『美咲町教育振興基本計画』を策定し、各年度ごとに重点方策を設けて推進し、最終年度の平成28年には住民アンケートにより評価を受けている。その結果をもとに、成果と課題により次のステップとなる、『第2次美咲町教育振興基本計画』が策定されたのは大いに評価される。

「施設・整備面」では周辺整備もよく行われており、児童・生徒が快適な環境で学校教育活動ができるよう整備されている。

(2) 人的管理に属する事務

「人的管理に属する事務」については、岡山県教育委員会への内申や町長部局との関係についても適正に要望が行われている。今後、これからの学校に発生するかもしれない想定内・想定外の危機管理対応や、服務規律をはじめとする県費・町費職員を含めた研修の充実が一層求められる。近年、教職員の多忙化が取り上げられているが、教職員と支援員のスムーズな連携と、新しく配置された「教師業務アシスタント」の効果的な活用が望まれる。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について

(1) 学校教育の推進

① 生きる力を育む教育の推進

平成28年度末には『新学習指導要領』が告示され、アクティブ・ラーニングの学習が全国各地の学校で試みられている。「確かな学力の充実」では、数値目標を設置して実施されているが、学力は全国平均に及ばない点も見られる。しかし、課題になっている部分については、具体的な取組により落ち着いた学級経営や授業づくりが行なわれているので、今後成果に表れてくるものと思われる。アウトメディアでは、P

TAとの連携や児童会・生徒会を中心とした活動、及び広報活動ができてきたのが大きな成果である。「特別支援教育の充実」では、基準以上の配置ができていますので、今後は指導の工夫などソフト面での改善が望まれる。

## ② 職員の資質向上

岡山県総合教育センター及び津山教育事務所等の継続的な指導とともに、全教員の授業公開により、職員の資質向上につながっていくことが期待される。県教委が発行した『学習指導のスタンダード(H26.6)』『家庭学習のスタンダード(H27.11)』『保幼小接続スタンダード(H28.1)』の活用をはじめ、各校において改良・工夫・改善をした新しい取組が期待される。

## ③ 教育環境の整備

施設・設備については年次的に計画的に改修等を行い、教育環境整備の跡が見られている。特にエアコンの設置が完了するなど、快適な学習環境の整備が行われている。

また、町内はスクールバスによる登下校が多い上に、長距離の徒歩通学も多い。想定内・想定外の事故・事件の発生も考えられるので、安心安全な教育環境の整備が一層求められる。特に「学校・教育環境の整備」「安全安心の子育て環境」については、優先順位や具体的な数値を決め、引き続き取り組んでいく必要がある。

## ④ 食育教育の充実

各校では保健安全委員会等により、バランスの良い正しい食習慣や健康管理の重要性が指導されている。「食と農の体験活動」は学校だけの体験でなく、各家庭、地域やJAなどの関係機関との連携による取組が考えられる。

## ⑤ 開かれた学校づくり

「学校評議員会」「学校運営協議会」に、学校から情報を発信するとともに地域からの要望や意見を聞きながら、地域に開かれた特色ある学校づくりが各校で行われている。しかし、児童・生徒の実態や保護者の構成がすぐに変わってくるので、組織の活性化と刷新が常に求められる。

## ⑥ 人権教育の推進

学校の「人権講演会」「演劇鑑賞会」の支援をし、ポスター・標語・人権作文の募集により啓発活動を促進するなど計画的な取組がなされ、不登校・いじめ・暴力行為の出現率が大幅に改善されていることは大いに評価される。Q U検査については、結果からの比較検討と、次年度への引継ぎをするなどの取組が重要である。

## ⑦ 体力・健康づくりの推進

「全国体力・運動能力調査」では、合計得点が小中ともに全国平均より上回る結果となっているが、中学校女子はかなり低い結果である。手立てを基に、引き続き基礎体力の向上や、スポーツ活動の充実につながる取組が求められる。

## (2) 家庭・地域社会の教育の充実と相互連携

### ① 時代の進展に対応した教育の推進

NIE、ALT、中学校の職場体験学習や人材派遣等に、時代の進展に対応した教育の推進がなされており、次第に充実されているのが感じられる。キャリア教育については、就学前より取り組む必要がある。

### ② 家庭の教育力の充実

教育委員会が率先して挨拶運動を支援したり、ノーメディア運動に取り組んだりす

ることは、保護者の意識向上につながるものと思われる。『親育ち応援プログラム』の活用などにより、引き続き親同士のネットワークを広げ、親が孤立しない取組につなげていただきたい。

### ③ 地域社会の教育力の充実

学校支援地域本部事業、放課後子ども教室、地域学習施策、子育て支援など諸団体との協力や支援をし、バランスの取れた推進に努めているのは評価に値する。

### ④ 家庭・学校・地域社会の連携強化

生活リズムの向上は成果が出ている。また、読書推進活動については学校・行政とともによく活動が行われている。引き続き各校や各公民館等とも連携して、情報交換をするなど、より充実した物的・人的施策が求められる。

### ⑤ 人権教育・啓発の推進

啓発活動や指導者の養成をするなど人権意識の向上に努めているが、積極的・継続的な啓発活動の定着を図るとともに、指導者の養成が求められる。

## (3) 生涯にわたって学べる環境づくりとスポーツ・文化活動の振興

### ① 生涯学習の推進と施設の整備充実

3地区ともに、充実した各種講座等が開催されているのが大いに評価される。施設整備については、優先順位などにより改善が必要となってきた。成人式では、厳粛な中にも華やいだ雰囲気であったことは、大きな成果である。これが故郷を愛し、地域を愛する心となり、将来美咲町に貢献する人材の発掘につながるものと期待される。各図書館では、図書の実用と利用に関する取組が高い成果を上げている。

### ② 生涯スポーツの推進

スポーツ行事が定着してきており、スポーツ活動への参加促進、総合型地域スポーツクラブやスポーツ団体の育成・支援が、ともによく推進されている。また、学校体育施設の開放についてもよく取り組まれている。スポーツ少年団加入者の増加は、学校体育の向上にもつながるので、指導者の養成と共に指導方法の改善にも取り組んでいく必要がある。また、体育施設の整備も求められる。

### ③ 地域文化・芸術・文化財の保護・活用と生きがいづくり

町内には他地域に誇れる、文化・芸術・文化財も多い。これらの優れたものがよく保存されたり伝承されたりしている。さらに文化財に対する人材育成をするるとともに、地域住民の方への情報発信をしていただきたい。また、県内外への情報発信も考えられる。

## 4 全体を通して

「教育委員会の組織・活動」「教育委員会が管理執行する事務」については、方針や課題解決の方法等がよく示されている。また、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、『美咲町教育振興基本計画』に基づき、各分野が具体的な数値目標により評価されている。さらに、太字は町振興基本計画の重点施策として示されており、とても分かりやすいものとなっている。

今後は、美咲町他部局との連携を図りながら、数値目標が妥当かどうかの検討と優先順位等を考慮しながら、重点課題を設定した取組の強化が求められる。